

恵庭市つながりサポート女性支援事業

1.事業内容

- ①コロナ禍における経済的な理由等で生理用品の購入が困難な方への支援
- ②コロナ禍において、就労や女性差別、ハラスメントやDVなど様々な不安を抱える女性への相談
- ③不安を抱える女性に対し、絆・つながりを回復できるようにするための居場所の提供
- ④悩みや不安などを抱える女性に寄り添った相談に対応できる人材の育成

2.事業の実施者

NPO 法人 おはな

3.支援の対象となる者

- ・ コロナ禍における経済的な理由等で生理用品の購入が困難な女性
- ・ コロナ禍において不安を抱える女性
- ・ 様々な不安など抱える女性に対して支援を行う方

4. 事業概要等

1) 生理用品の配布

①小学生・中学生・高校生・大学生等

各学校との連携により経済的な理由等で生理用品の購入が困難な方に対して、保健室等などを通じた配布

◎学校のトイレなどに「配布カード」を設置し、保健室等で提示し受領

◎配布の際に、困りごと等を抱えている場合は市や団体等と連携

②その他の女性

インターネットやSNSなどのほか、公共施設や商業施設等で事業を周知し配布

③配布を希望される方へアンケートの記入を依頼

◎困りごと等を抱えている場合は市や団体等と連携し、必要な支援に繋げる

④配布場所

◎市役所（総務課、総合案内、子ども家庭課）、保健センター、社会福祉協議会、NPO法人おはな、NPO法人まちづくりスポット恵み野など全22カ所

2) 相談事業

ワンストップ窓口の設置による対面、電話やメール等での対応

◎おはなを総合窓口とし、市や関係機関等と連携し相談事案へ対応

◎生理用品配布時のアンケートなどから対応

3) 居場所の提供

受託者の事業所などにおいて、様々な不安を抱えている女性などが、社会とのつながりの回復に向け集まることができる居場所を提供

◎おはなの職員との対話や参加者同士の対話による

- 4) 相談や悩み事などに対するスキルを持った人材の育成
専門の講師による相談員として必要となるスキルの習得

5) 事業の周知

市 HP や SNS、市広報や地域情報誌での周知記事の掲載、市内 53 カ所の学校や商業施設などのトイレでパンフ配布、地域 FM など

5. 事業における連携

実施者となる NPO 法人は、市や公的機関のほか、市内の NPO 法人や社会福祉協議会、市民団体などと必要な連携を図る。

【実施主体】NPO 法人おはな

【協力団体】NPO 法人ワーカーズコープ、NPO 法人まちづくりスポット恵み野
連合北海道恵庭地区連合、恵庭市社会福祉協議会 ボランティアセンター
恵庭市ほか

6. 事業の期間

・令和 3 年 7 月 1 日～令和 4 年 3 月 15 日

7. 市内での連携・協議・役割の分担

課 名	役割の分担
総 務 課	男女共同参画、委託先の進捗状況把握・相談状況の報告
基地・防災課	防災備蓄品の活用
財 政 課	補正予算、財源対策
企 画 課	高等教育機関との連携、地方創生臨時交付金
市 民 生 活 課	相談業務の連携（人権擁護委員、行政相談員、法律相談等）
福 祉 課	民生委員、生活保護、生活困窮者自立支援
障がい福祉課	障がい者自立支援
保 健 課	自殺予防、妊産婦支援
子ども家庭課	女性相談、学習サポート、子ども食堂
商工労働課	就労支援、ジョブガイド、ハローワーク
教育総務課	小中学校との連携
教育支援課	特別支援教育、いじめ・不登校

8. 事業費

1,872 千円

9. 事業実績（経過）

1) 生理用品の配布

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	1	1	5	5	5	6				23
中学生	0	2	5	4	6	5				22
高校生	10	17	8	10	22	26				93
大学生	35	0	15	39	0	53				142
10代	0	0	0	0	5	0				5
20代	0	0	2	0	3	0				5
30代	0	0	0	0	0	0				0
40代	0	0	1	0	0	0				1
50代以上	0	0	0	0	0	0				0
不明	0	0	3	0	0	0				3
計	46	20	39	58	41	90				294

※児童・生徒への配布は101件。配布理由では「忘れたから」が100件、「教師への学校生活での相談の機会として」が1件。

※大学生は89件。全ての配布理由は「無料で配布しているから」。

※大学生への生理用品の配布は、市民団体等が毎月、大学等を会場に開催している学生への生活支援事業「フードパントリー」の会場にて食料品とともに希望する学生へ配布したもの。

※10代以上の区分での配布は14件。配布希望理由は「無料で配布しているから」12件、「経済的に購入できないから」2件

2) 相談事業

	困窮	DV	虐待	育児	就労	その他	計
小学校							0
中学校							0
高校						1	1
大学							0
10代						2	2
20代						6	6
30代						0	0
40代						9	9
50代以上						13	13
不明		0				6	6
計	0	0	0	0	0	37	37
連携	0	0	0	0	0	(1)	(1)

※高校の1件は、学校生活に関する相談（教職員による対応）。

※相談区分の「その他」とは、「何かしらの不安」に対しての相談や傾聴

※「連携」は、相談案件を市や関係機関に引継をおこなったもの

※一般の相談者は全て NPO 法人事務所への電話やメール、SNS での対応

3) 居場所の提供

	サロン	オンライン	その他	計
10代				
20代		2		2
30代				
40代	8	2		10
50代	4	1		5
60代				
70代上	1			1
不明				
計	12	5		18

※サロンの開催場所は、おはな事務所のほか毎月1～2回えにあすで開催

※オンラインは、ZOOMでの開催

4) 相談や悩み事などに対するスキルを持った人材の育成

オンラインでの講座を開催（全12回 7月～11月）22名が受講

アサーティブトレーニング（互いに尊重しあい、コミュニケーションをとる手法）

自尊感情回復トレーニング（自己肯定感に関する講座）

ファシリテーション学（会議などを円滑に進める手法に関する講座）